

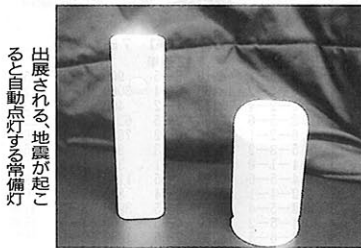
大震災教訓に万全の備えを

NPO法人東海リスクマネジメント研究会(豊川市蔵子6、彦坂高司会長)主催の第7回「防災フェア」(東愛知新聞社など後援)が9、10の両日、豊橋商工会議所4階で開かれる。東日本大震災から間もなく1年。フェアは「震災の教訓に学び、次の災害に備える」をテーマに、被災した宮城県内の製造業者や、東三河の有識者を招いたセミナーをはじめ、防災用品の展示会などを企画。中小企業経営者だけでなく一般家庭の災害に向けて被害を最小限にする対策、被災後から復旧までの備えの重要性を呼びかける。フェアは入場無料だが、セミナーは資料代として1500円が必要。開場は両日も午前10時で、閉場は9日が午後5時半、10日が午後5時まで。(安藤聡)



大震災では家庭内で次々と室内家具が転倒 (NPO法人東海リスクマネジメント研究会提供)

- 【東海消防設備】カセットボンベを利用する発電機の紹介**
【電機ケーブルネットワーク】災害時の緊急地震速報装置
【中部ガス】住宅用火災警報器などの紹介
【レオック】耐震リフォームの施工事例紹介
【生力製作所】地震が起こると自動点灯する常備灯(コンセント充電式、電池式壁掛けタイプ)の紹介
【アルマック豊橋】緊急地震速報、安否確認用の資料紹介
【赤松電気】災害時電源切り装置の紹介
- 【カクシンJPI】バッテリーと太陽光発電を使った装置の紹介**
【立福工務店】家具固定、ガラス飛散防止フィルムの紹介
【AKアド】電動バイクの展示。災害時に機動力を発揮できる
【THK】防災装置の紹介
【スズシン商会】省エネ電球の展示
【音羽電子システム】無線機の紹介
【インバシステム・プラントエンジニアリング】360度パースナル写真で制作するハザードマップの紹介



出展される地震が起こると自動点灯する常備灯

「災害時」に役立つ製品の数々 展示コーナーやAEDの講習も

企業14社と豊橋商工会議所、海洋研究開発機構、日本損害保険協会、耐震補強や業でも設置が進むAEDの相談コーナーも設け

家具固定、非常時の発電機など展示。公共施設だけでなく民間企業も設け

内容はBCPの作成方法や企業の震災対策、災害時経営アドバイス、耐震補強など。



東日本大震災で機械が転倒した工場内部 (NPO法人東海リスクマネジメント研究会提供)



東三河の商工会議所や商工会で行われるBCP対策セミナー。災害だけでなく事故への備えにも計画が必要だ

防災知識を深めるセミナー

被災した豊橋の緒方製作所社長 高橋氏の講演など開催

9日

午前11時〜正午 豊橋理工科大学総合情報学部 野野徹教授が「中小企業の取り組みべきBCP対策とは」を演題に講演する。

午後1時〜午後3時 高橋氏講演「緒方製作所」の機器製造・高橋一宏社長、同市の高橋一宏社長、同市の保険代理業「トータル・アルマック」の佐々木三郎氏

10日

午前11時〜正午 豊橋理工科大学総合情報学部 野野徹教授が「中小企業の取り組みべきBCP対策とは」を演題に講演する。

午後1時〜午後2時 豊橋理工科大学総合情報学部 野野徹教授が「中小企業の取り組みべきBCP対策とは」を演題に講演する。

午後2時〜午後3時 豊橋理工科大学総合情報学部 野野徹教授が「中小企業の取り組みべきBCP対策とは」を演題に講演する。

「リスク感性」の醸成が不可欠

NPO法人東海リスクマネジメント研究会 彦坂高司理事長

一人一人が災害だけでなく、事あるために対「ラン」事業継続への危機感をもたせ、故への心構えをもち、処しておくことで、計画の必要性が求まらなくなり、常日頃から「ラン」を醸成する。企業向けに「ラン」を醸成する。企業向けに「ラン」を醸成する。企業向けに「ラン」を醸成する。



豊橋商議所で「防災フェア」

9、10日